

子どもの目のがん「もうまくがさいぼうしゅ網膜芽細胞腫」について

①「もうまくがさいぼうしゅ網膜芽細胞腫」とは

もうまくがさいぼうしゅ網膜芽細胞腫はもうまく網膜に発生するあくせいしゅよう悪性腫瘍で、乳幼児に多い病気であり、出生児15,000～16,000人につき1人の割合で発症しています。もうまく しゅよう網膜に腫瘍ができると視力が低下しますが、乳幼児はまだ、ものが見える、見えないという状態がよくわからず、その状態を伝えられないことから、発見されたときには進行している場合も少なくありません。ある程度進行すると、光が腫瘍に反射して夜のネコの眼のように白く光って見えたり、左右のがんきゅう眼球の向きが合っていない状態（しゃし斜視）になったりします。その他、まぶたのはれがみられることもあります。こうした症状に家族が気付いて受診する 경우가多く、95%が5歳までに診断されます。早くちりょう治療が行われれば生命に関わることは少なく、治ることができます。

②目のチェックをしてみましょう。確認はお子さんの機嫌の良い時に行ってください。

0 か月～	瞳が白く見えたり、黄緑色に光って見えることがありますか？	はい・いいえ
	目がゆれることがありますか？	はい・いいえ
4 か月～	片目の前にそっと手をかざしてみてください。片方ずつ試してください。片方だけ嫌がって顔をそむけたりしますか？	はい・いいえ
1 歳～	テレビや本に極端に近づいて見ますか？	はい・いいえ
	片目をつぶったり、まぶしかったりすることがありますか？	はい・いいえ
	頭を傾けたり、横目づかいでものを見ることがありますか？	はい・いいえ
2 歳～	本など近くの物を見る時、目が内側に寄ることがありますか？	はい・いいえ
3 歳～	目を細めて物を見たりしませんか？	はい・いいえ
	視線が合わず、どこを見ているか分からないことがありますか？	はい・いいえ

※ 上記の項目で「はい」に○がある場合は早めに眼科を受診しましょう。

※ 詳しい目の健康を調べるチェックシートは、次を参考にしてください。

日本視能訓練士協会 乳幼児版 (外部サイト) <http://www.jaco.or.jp/handouts/>

③町では乳児けんしん・1歳6か月～7か月けんしん・3歳児けんしんを実施しています。対象の方には、案内を送付しますのでぜひ受診してください。気になることがあれば、川崎町保健センターへご相談ください。

(お問い合わせ先) 川崎町健康づくり課 (川崎町保健センター)

代表 0947-72-3000 (内線 478.479) 直通 0947-72-7083